

トピックス

第48回自然公園大会の開催

自然公園大会は環境省が主唱する「自然に親しむ運動」の中心行事として、自然と私たちとの関係について考え、自然を守り、人と自然との豊かなふれあいを推進するための祭典で、国立公園や国定公園を舞台に昭和34年から毎年開催されています。

平成18年11月8日、9日の2日間、伊勢志摩国立公園で、国立公園指定60周年記念と併せて第48回自然公園大会が開催されました。

大会1日目（11月8日）は、志摩市阿児町の阿児アリーナで常陸宮同妃両殿下のご臨席のもとオープニングセレモニーや自然公園関係功労者の表彰などの「式典」の他、志摩市浜島町の合歓の郷では、地元の物産品などの出店ブースが集まる「ふれあい広場」、英虞湾に沈む夕陽を見ながらステージイベントを楽しむ「夕べのつどい」が開催され、2日目（11月9日）は、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町の各地でウォーキングやシーカヤック体験、英虞湾遊覧など、自然体験を中心とした「野外活動」（全20コース）が実施されました。

2日間の大会や春から開催されているプレイベントに延べ31,000人の参加があり、自然との豊かなふれあいを体験し、自然を大切にすることを育むことができました。

